

現代の階級と言葉

第38回唯物論研究協会 研究大会

2016年10月22日(土)

立教大学池袋キャンパス

シンポジウム

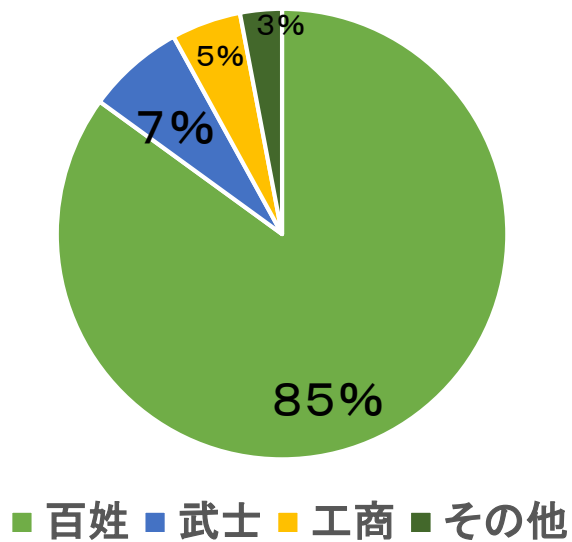
「ポピュリズム vs. 知性？」

政治的世界の分岐点を問う」

報告者 竹内真澄(桃山学院大学)

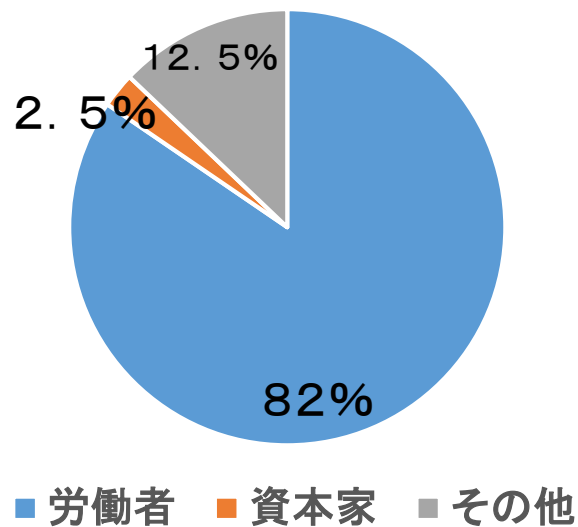
身分から階級へ

士農工商 人口比率



江戸時代の典型期

資本家／労働者比率



現代日本(2010)

1. 階級論の3つの系譜

(1)ブルジョア的階級論

A・スミス、リカードウ、ディズレーリ、コント、スペンサーなど

(2)啓蒙的階級論

先行する啓蒙主義的言語で階級を捉える。

(G・ステッドマン・ジョーンズ『階級という言語』1983)

(3)マルクスの階級論

経済過程独自のロジックと政治の関係について複雑な洞察がある。

マルクス 非資本家の観念

「資本主義的生産に支配されている社会状態のなかでは、資本家でない生産者も資本家的な観念に支配されている。」

『資本論』3巻1、大月書店、48頁

2. 日本の階級論

(1)ブルジョア的階級論

福沢諭吉「ミッツルカラッセ」1872、伊藤博文「人民の階級」
「カ・ルードフ憲法講義第14回」1886

(2)啓蒙的階級論

植木枝盛(地主—小作)、徳富蘇峰(豪農的平民)、
平民社(堺・幸徳)—吉野作造

(3)マルクスの階級論

1904年『共産党宣言』翻訳(堺・幸徳)→
日本資本主義発達史講座(1932)

(1)ブルジョアの階級論

「人民は開化の度のすすむに従いて自然階級の差異を生ずべし。初めに財産の多寡および職業の別ありしを、その人間中おのずから変を生ず。かくのごとき外形上生活の異なりたる風俗慣習を生ぜざるを得ず。しかしてその慣習によりて生活上極りたる身分を形為す。しかる後に身分の区別は教育と相続とによりて子孫に相伝して次第に凝結して堅固になるものなり。かくのごとく実際に階級を生ずるは経済上および社会上異なりたる階級あると言うまでにして、法律上にて階級とみなすべからず。(法律上定まりたるものはカステン、定まらぬものを階級)

永代世襲せる法律上の階級のごときは近代ことごとくこれを停廃せり。階級の区別は官吏・議員などのみ。一般人民の中に別段の階級あるものとす。その官吏の事につきて詳なるは追いてなお細説すべし。その他階級なるものなし。
(憲法講義 第14回 人民の階級 伊藤博文『明治憲法資料集』第2巻、原書房)

斎藤隆夫(1870~1949)

「近代立憲制の発達に従って、欧米諸国は漸次に普通選挙制を採用し、政治の前に於ける貧富の障壁を撤廃し、国民をして政治上に解放せざるをえないのであります。(中略)政治の前に於いては府印譜の懸隔を認めない。日本一の大金持ちも、その日稼ぎの労働者も、参政権の前にあっては絶対平等であります。今後吾々は参政権の前にたちましては、有産階級の特権を認めざるとともに、無産階級の特権をも認るものではない」(参議院議事録第46巻、1925年、坂野潤治『<階級>の日本近代史』2014、96-7頁より)

(2) 啓蒙的階級論

植木→吉野 自由民権の啓蒙主義的発想を維持しながら、経済的不平等に課題を設定したもの

その典型は「1901社会民主党宣言(安倍磯雄1865~1949)」

社会民主党宣言（抄）

「いかにして貧富の懸隔を打破すべきかは実に20世紀における大問題なりとす。かの18世紀の末にあたり仏国を中心として欧米諸国に伝播したる自由民権の思想は、政治上の平等主義を実現するにおいて大なる効力ありしといえども、爾来物質的の進歩著しく、昔時の貴族平民という階級制度に代ゆるに富者貧者というさらに忌むべき恐るべきものをもってするに至れり。そもそも経済上の平等は本にして政治上の平等は末なり。ゆえに立憲の政治を行いて政権を公平に分配したりとするも、経済上の不公平にして除去せられざる限りは人民多数の不幸は依然として存すべし。」

「社会民主党宣」の階級認識

(1) 貴族平民→地主資本家/小作人労働者

(2)「貧富の懸隔の因って生ずるところ多くこの二点に存す」

①雇用・衣食住・疾病老衰手当

②平等教育

(3) 普選運動による再分配←英チャーチスト運動とフェビアン協会を合わせた性格

社会民主党宣言1901 の未達成課題

1. 経済的平等 貧富の懸隔の打破
2. 8時間労働と日曜日の労働の廃止
3. 十分なる衣食住の供給
4. 疾病老衰への丁寧なる手当
5. 20歳までの教育の公費無償化

啓蒙的階級論は福祉国家政策を相当カバーできる。

(3) マルクスの階級論

- 1925年男子普選以降の過程
治安維持法(ブルジョア的階級論と関係がある)
共産党と社会大衆党の協力と対立
この時期に
〈労働者〉〈会社員〉に〈サラリーマン〉
が加わる。3用語の並列！

300万人から1200万人に拡大した有権者のうち900万を占める小作・労働者は、自己を政治的に表現できなかった。→ファシズム

3. 階級と言葉の関係

<階級>という言葉の日常性はどうなっているのか？

新聞紙上での

「労働者」「サラリーマン」等を検索すると・・・

労働者、会社員、サラリーマン、ビジネスマンなどの出現時期(ヨミダス検索)

1875 労働者(職工を含む)

1890 会社員

1919 サラリーマン

1924 ビジネスマン

1941 産業戦士

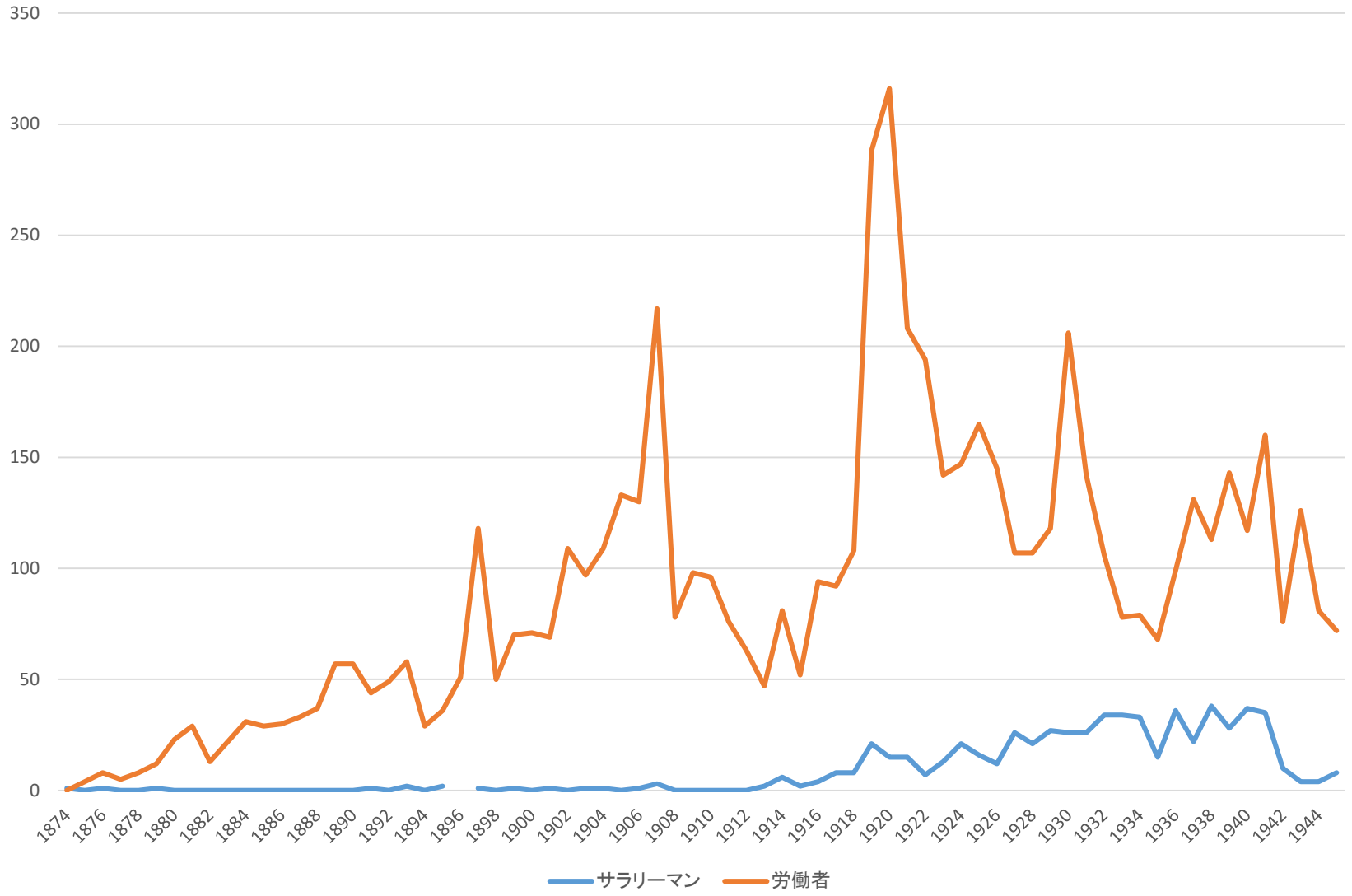
1970頃 モーレッツ社員

1980年代 会社人間

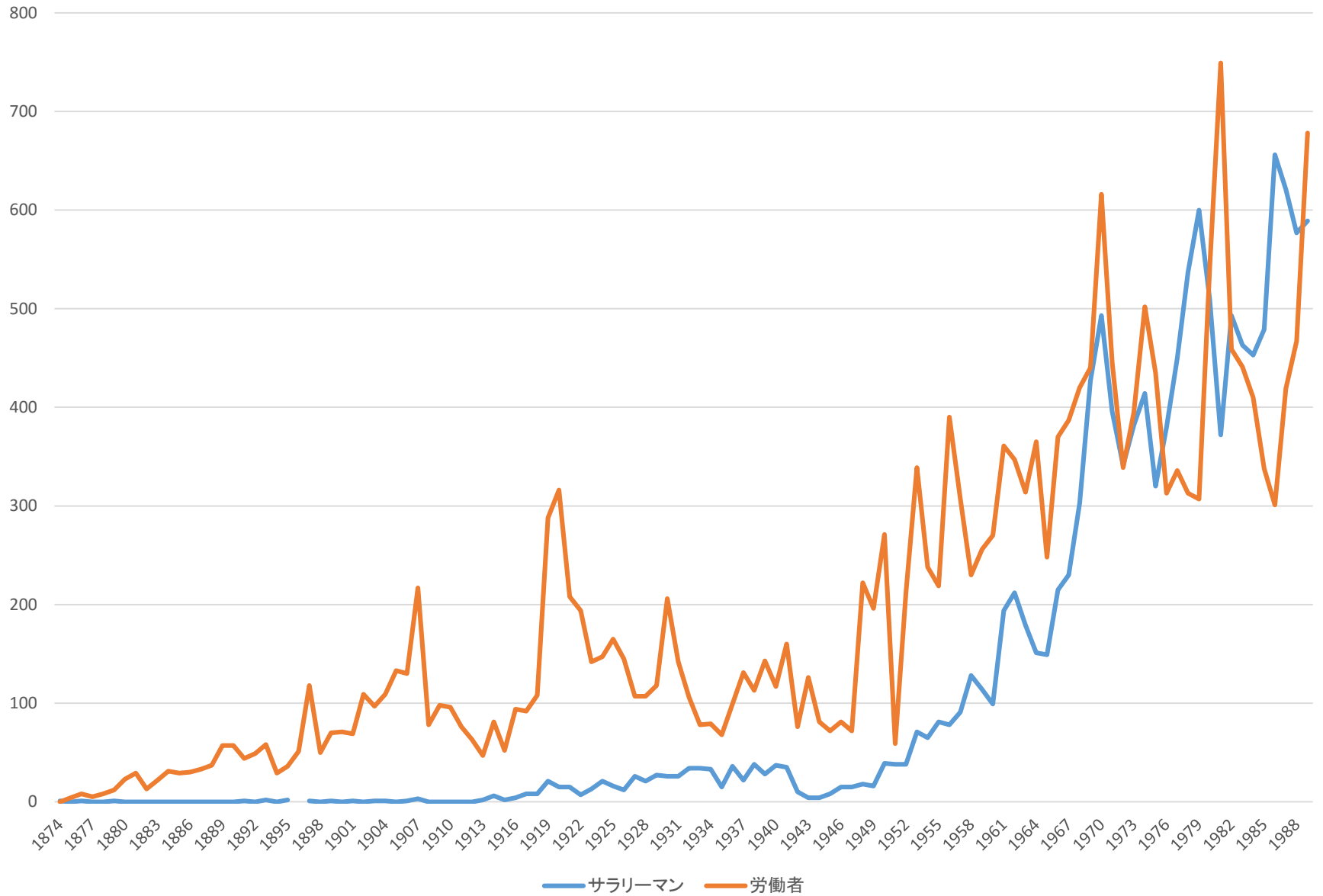
1993~5 社畜

現在 様々な使い分け <労働者階級>は年10~20件

ヨミダス 戦前 労働者とサラリーマン



ヨミダス 労働者・サラリーマン推移



1920年代のサラリーマン論

1. 吉田辰秋1926『サラリーマン論』大阪屋号書店
2. 前田一1928『続サラリーマン論』東洋経済出版部
3. 大宅壮一1929「サラリーマンの生活と思想」『サラリーマン』
4. 大内兵衛1936「イギリスにおけるサラリーマンの地位」『著作集⑤』

サラリーマン論の背景

(1) 官庁公務員、企業管理職の増大

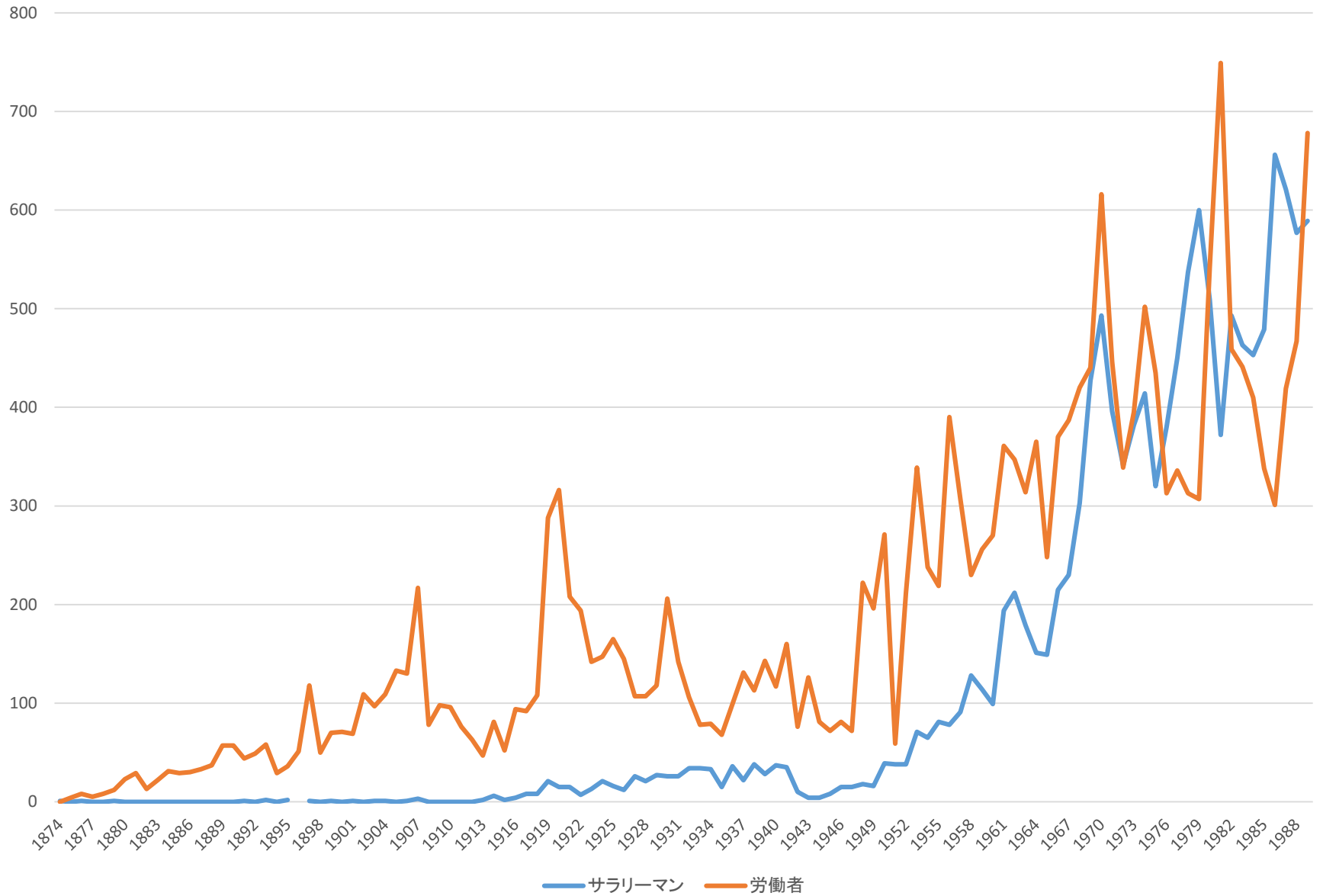
(2) サラリーマンを労働者の一部とみるか、切り離すか

「従来の労資対立時代より労働者、資本家、サラリーマンの鼎立時代へ」(吉田)と大内の対抗

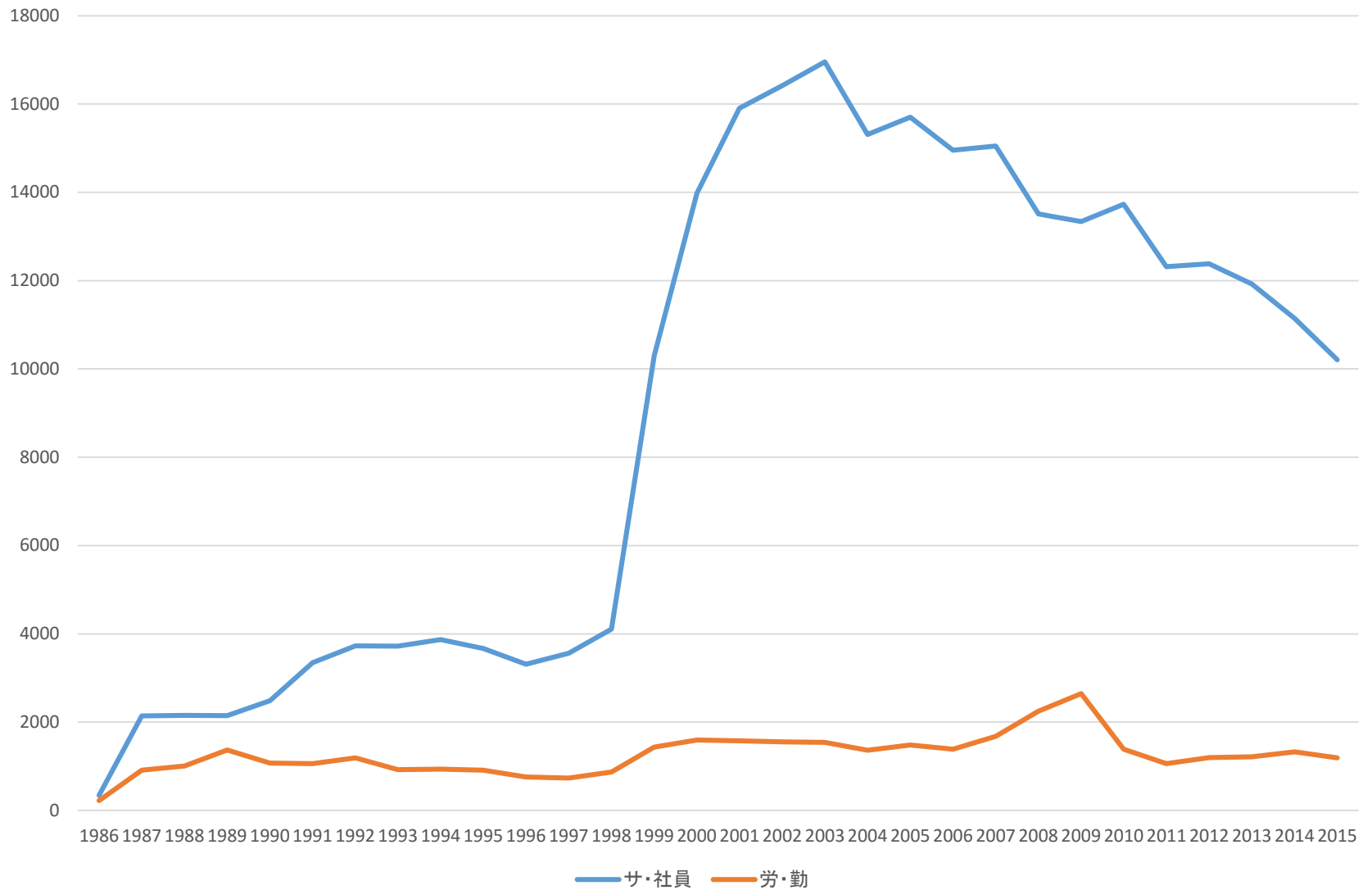
戦後

<労働者>と<サラリーマン>

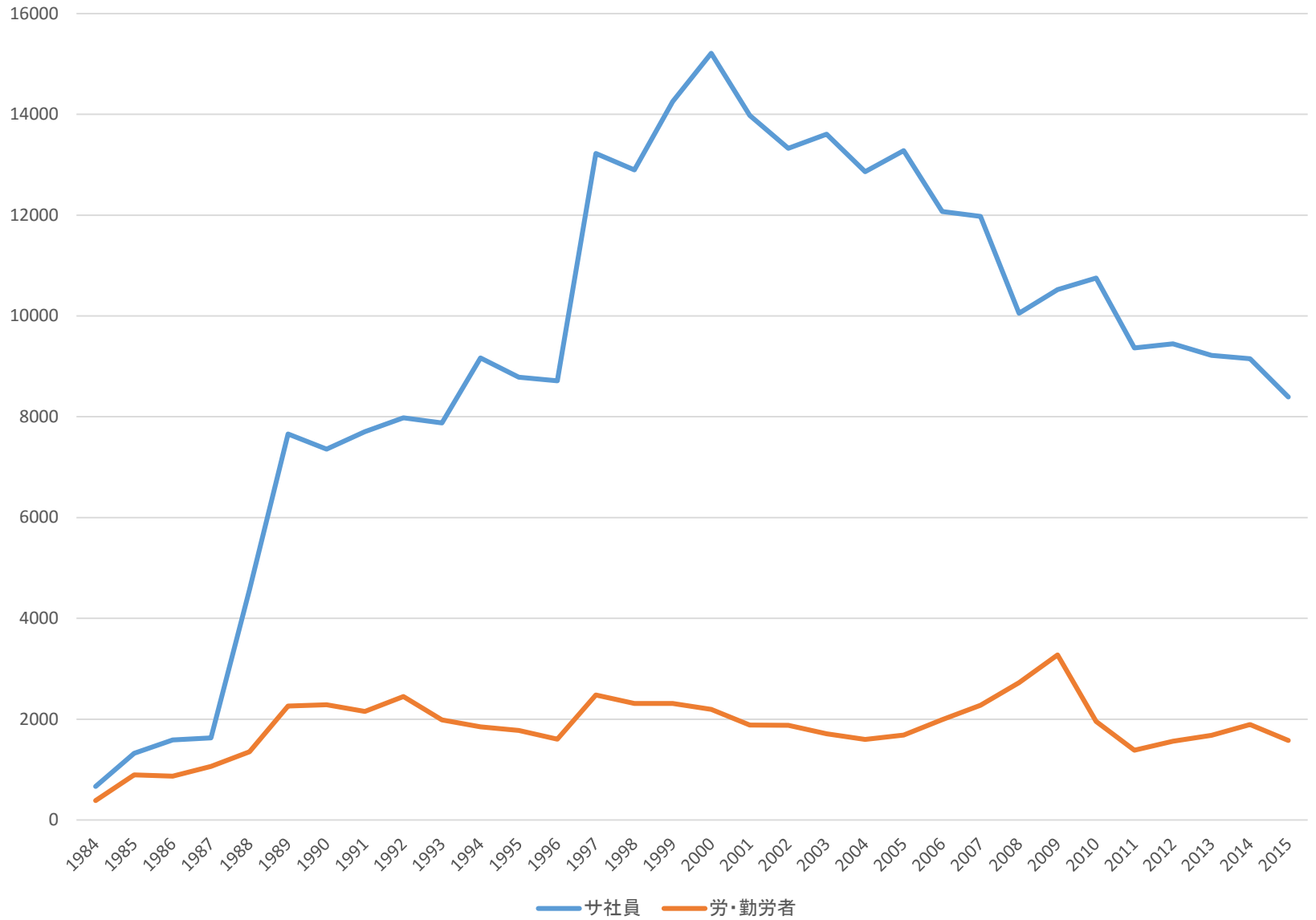
ヨミダス 労働者・サラリーマン推移



ヨミダス サ・会社員と労働者・勤労者



朝日聞蔵Ⅱ サ・社員と労・勤労者



新聞用語における 〈サラリーマン・会社員〉の量

読売新聞の1986～2015年検索によれば

〈サラリーマン+会社員〉は〈労働者・勤労者〉の
4～8倍に達する。

言葉の問題

ここまで〈会社員〉〈サラリーマン〉〈労働者〉の頻度のみを扱ってきた。ラフに定義すれば以下のようなになる。

- 〈会社員〉 民間企業正社員
- 〈サラリーマン〉 給与所得者
- 〈労働者〉 働いて賃金を得る人。

現代の非正規約2000万人(2016)をどう呼ぶかが課題。

同一主体を、サラリーマンとも労働者とも会社員とも規定できる場合がかなりあるので、3用語はイメージ的、イデオロギー的な用語である。

1986～2015年 ヨミダス 3用語件数



新聞用語のバイアス

1. <労働者>とは派遣労働者、出稼ぎ労働者、工場労働者など、下層の職種的な意味に限定されている。

2. <会社員>民間企業。市場+企業、生存競争と上下関係の色彩が強い。

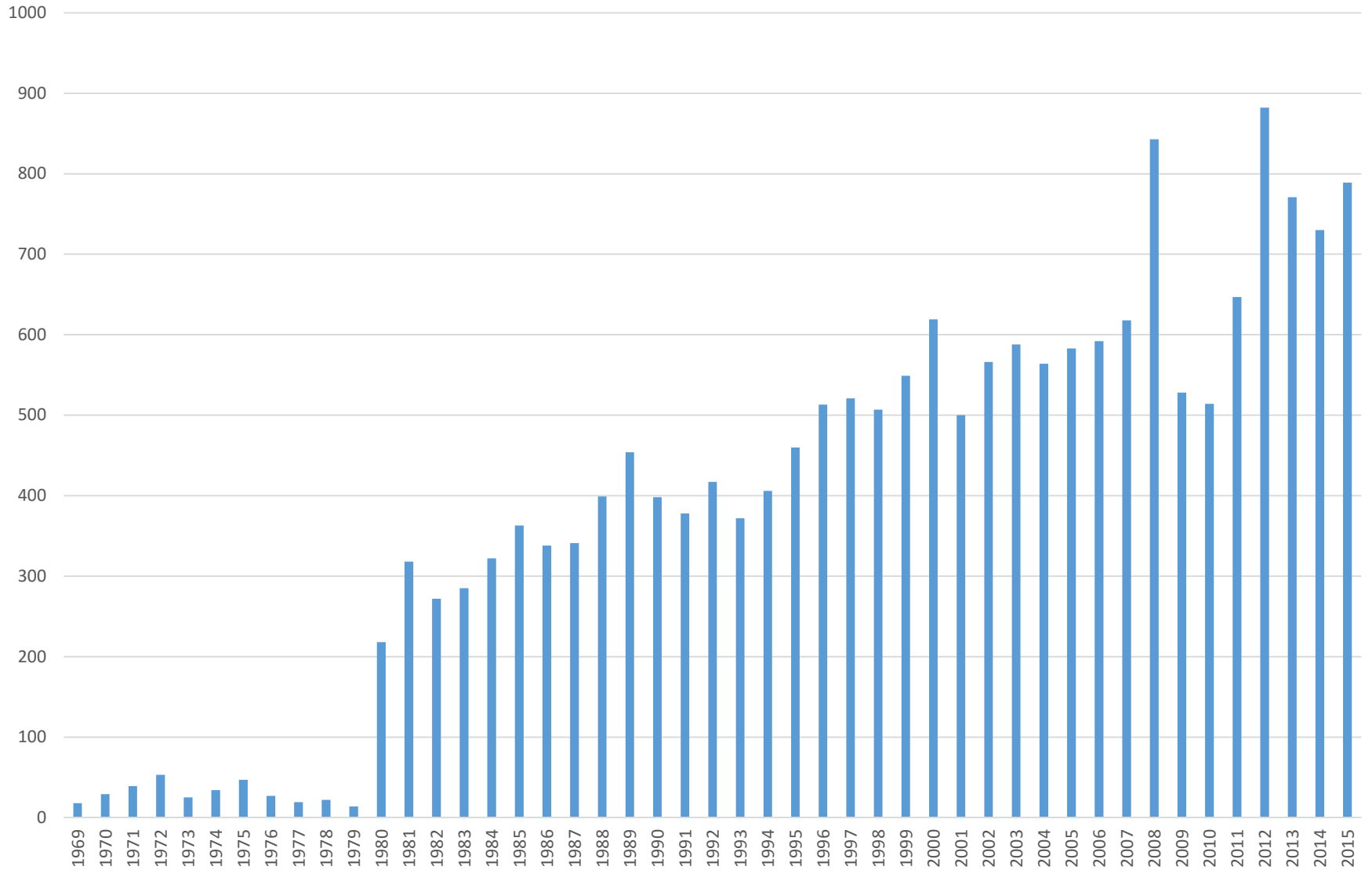
3. <サラリーマン>企業(依存)給与生活者

日本の新聞のバイアス

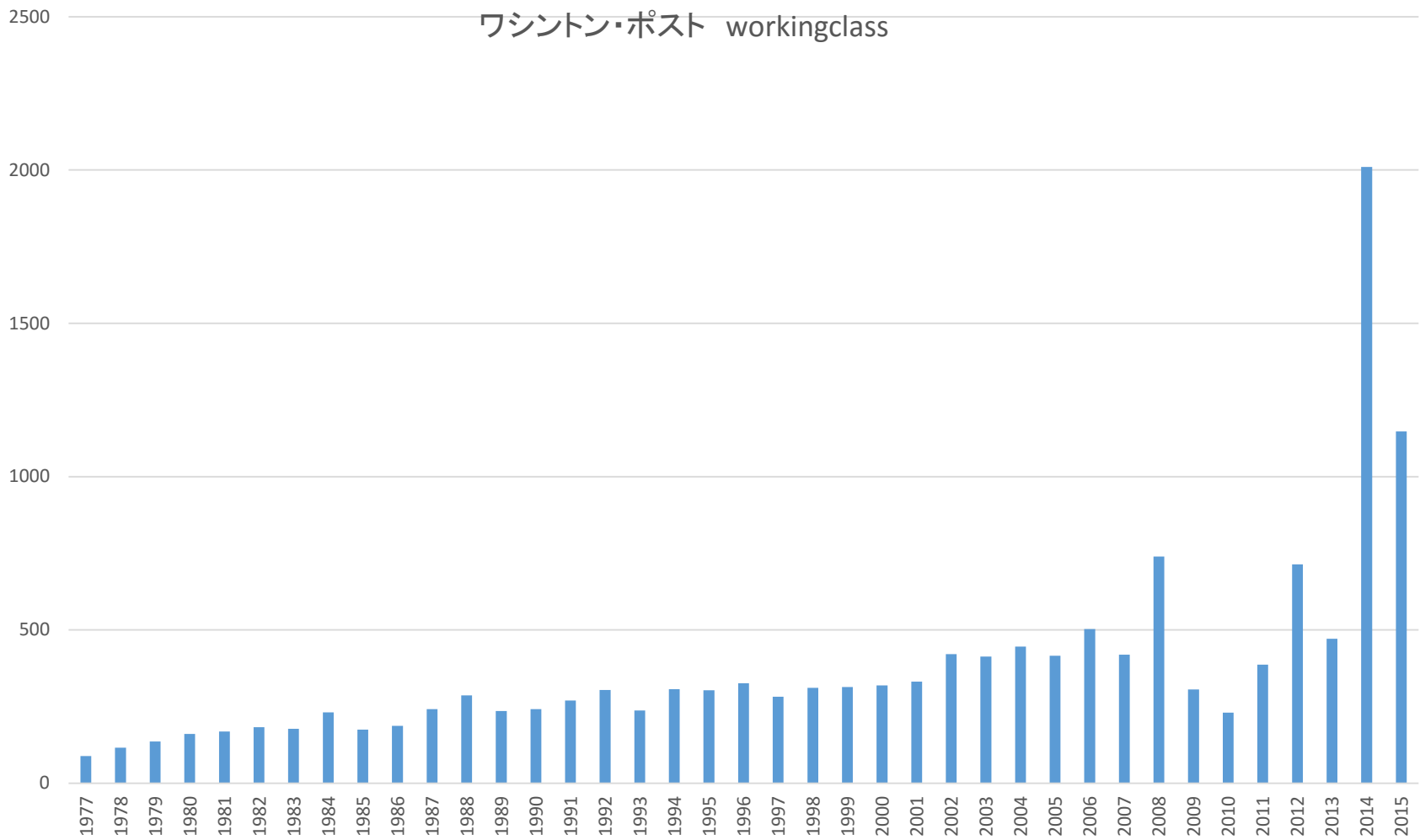
- (1) 単独者を労働者、会社員、サラリーマンのいずれかに分類する。
- (2) 会社員・サラリーマンが多用され、労働者は減る。
- (3) 階級帰属は身長分類に近いものとなる。階級用語は特殊政治用語か、過去記述の用語となる
- (4) 社会科学的階級論はほとんど消えている。

4. 英米の新聞の ＜労働者階級＞

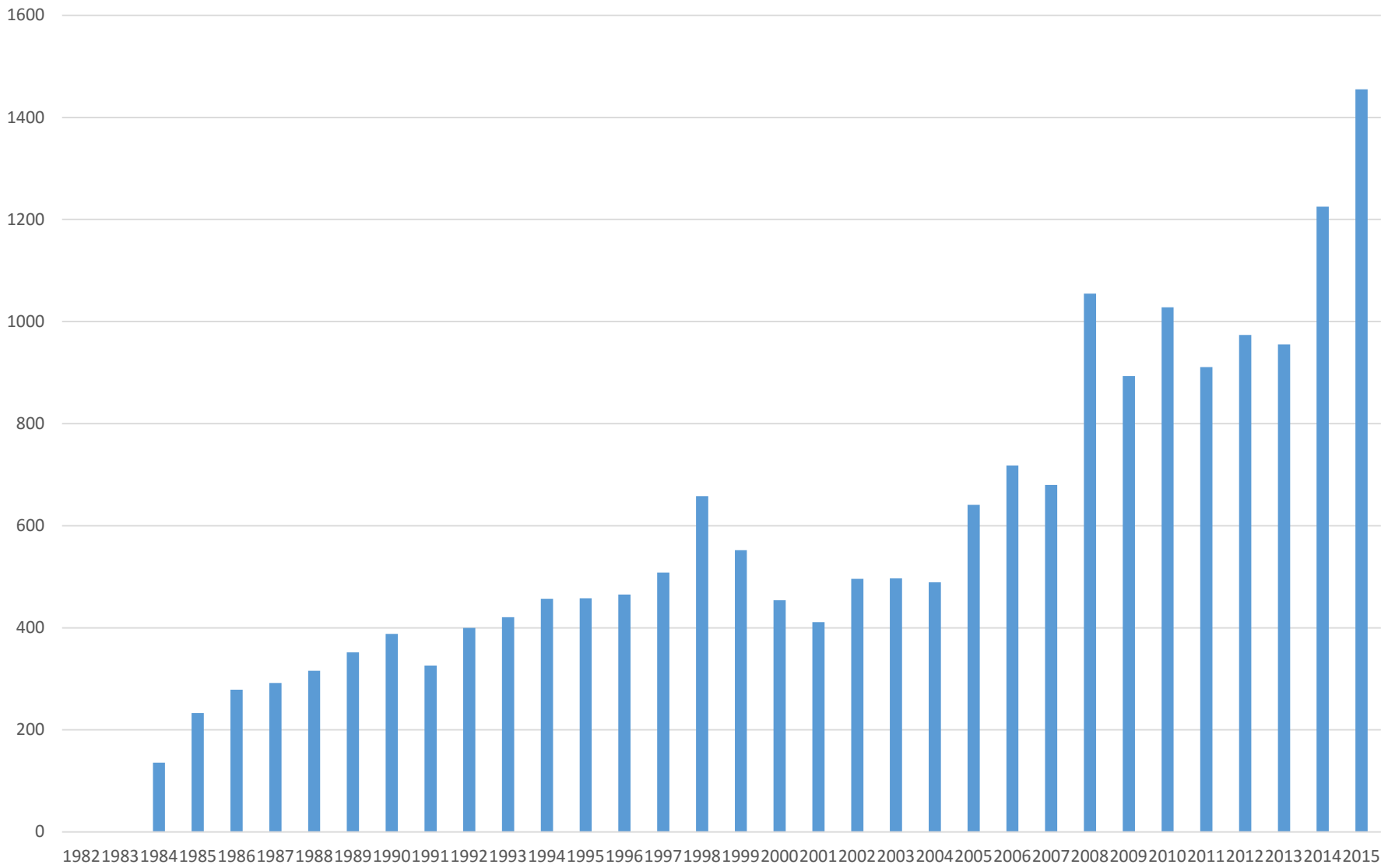
ニューヨーク・タイムズ working class



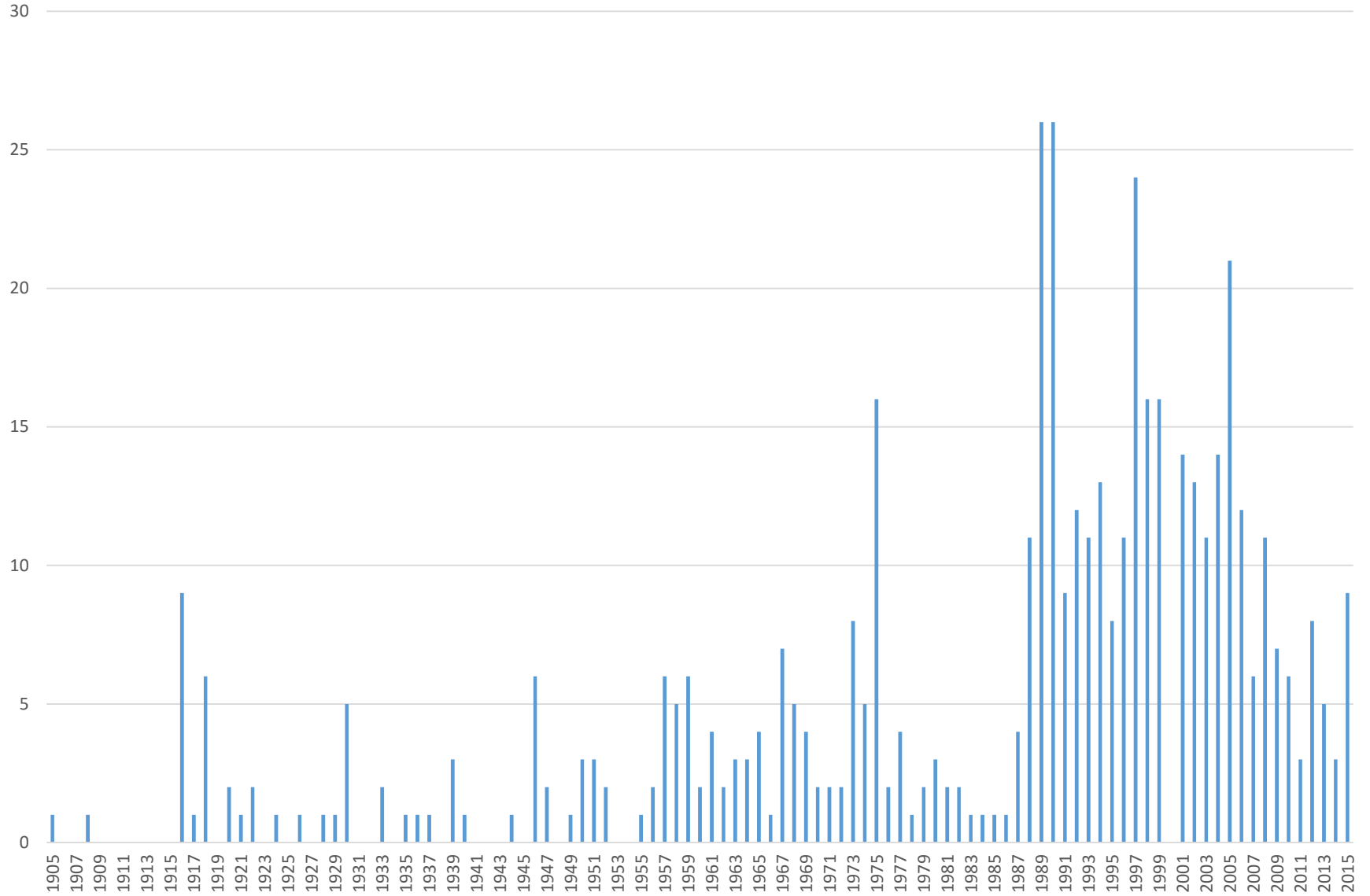
ワシントン・ポスト workingclass



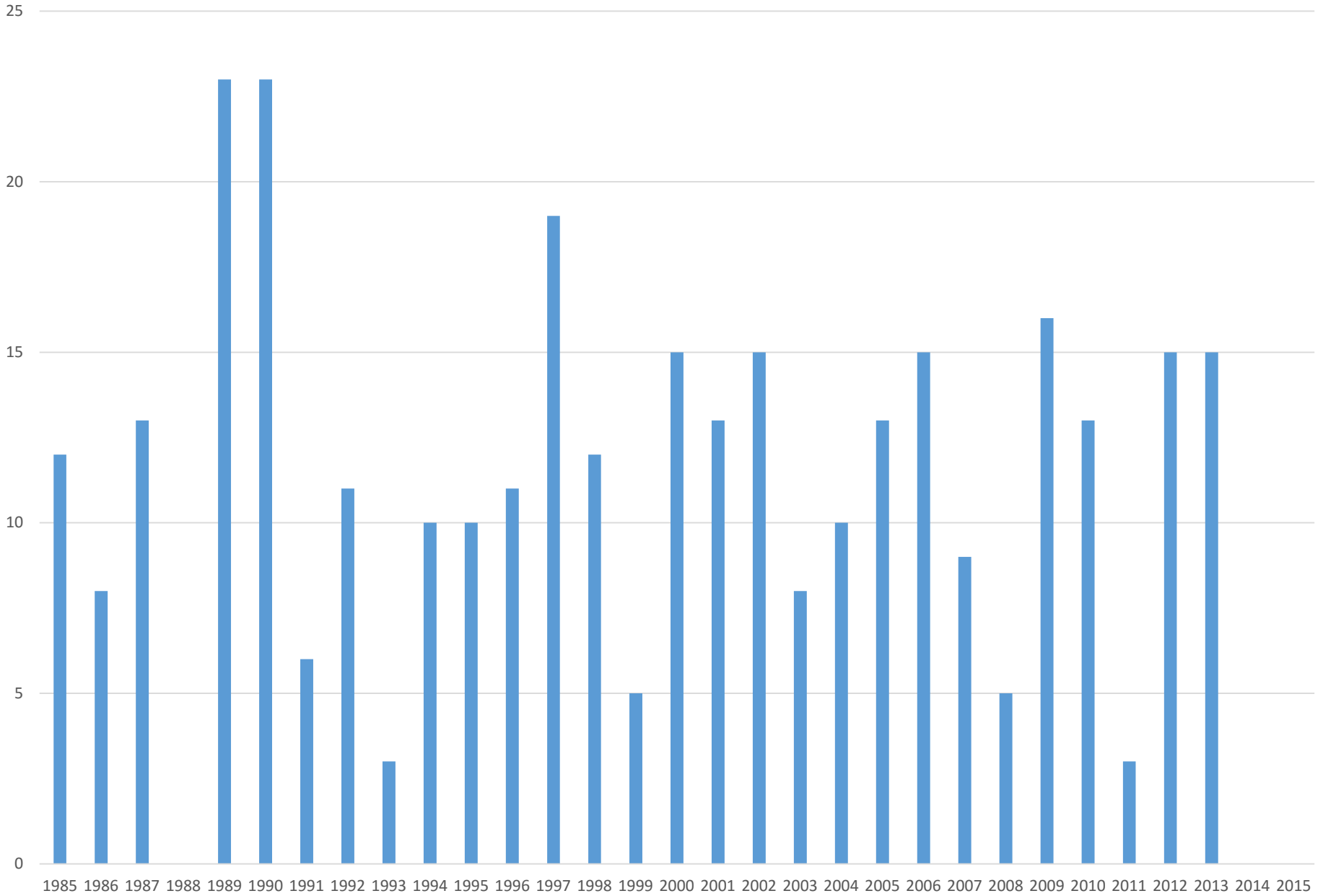
ガーディアン workingclass



ヨミダス 労働者階級



朝日聞蔵 労働者階級



5. マンガにおけるサラリーマン

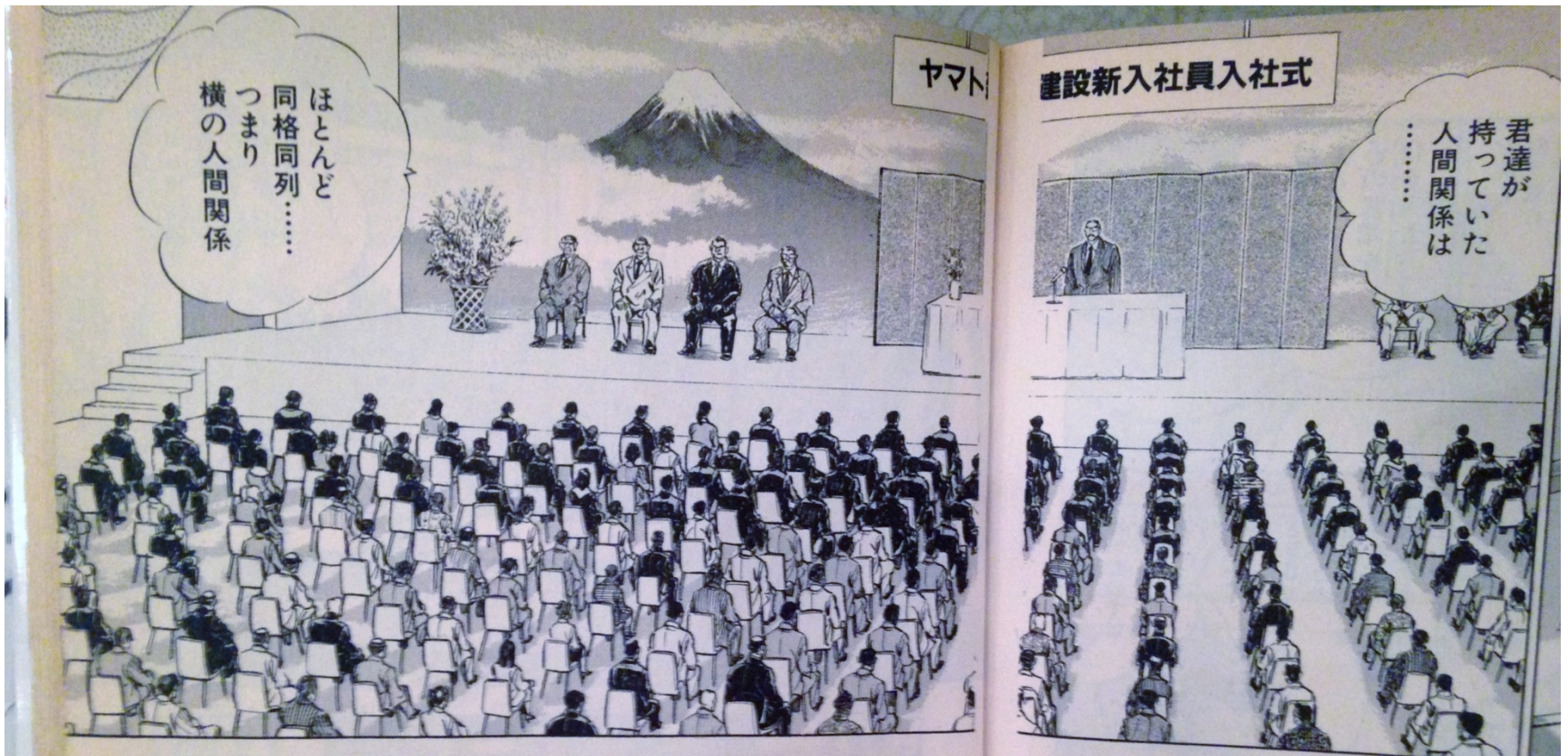
1. サトウサンペイ『フジ三太郎』（朝日新聞1965～1991）

ヒラのサラリーマンを描く

2. 本宮ひろ志『サラリーマン金太郎』（『週刊ヤングジャンプ』1994～2002）

漁師出身、暴走族リーダー矢島金太郎の活躍

サラリーマン金太郎(本宮ひろ志 『週刊ヤングジャンプ』1994~2002)



しかし
実社会の
人間関係は
ほとんどが
上下関係

上の者は部下を
どう掌握するか
下の者は上司に
どう認められるか



それが大人の
実社会だ
これを認識
できなければ



上司を
ムカつく奴だと思い
ドロップアウト
していくか
反対に 組織の中に
埋没し……

サラリーマン漫画

固有の役割

新聞記事の〈会社員〉〈サラリーマン〉〈労働者〉は抽象分類になっているため、それを市場と企業(生存競争と上下関係)の枠組みで肉付けする

(この意味で冒頭のブルジョア階級論を基調とする)。

哀愁、辛さ、アイロニーか、ぎゃくに上下／市場関係における「努力・勝利・友情」に昇華される。

まとめにかえて

1. 現代の階級構成(2010)
2. 長期にわたって3つの階級論が並立
3. <会社員><サラリーマン><労働者>は分類用語となり、階級構成論はほとんど消える。
4. 格差社会化により、階級的言説を基軸とする言語環境をつくりだす必要が生まれている